平成21年度 上田市役所(丸子地域自治センター)
ISO14001に基づくEMSに関わる第三者監査
報 告 書

平成22年3月31日

上田市役所第三者監査チーム

上田市役所（丸子地域自治センター）の ISO14001 に基づく EMS について、平成 22 年 2 月 24 及び 25 日に実施した環境監査の結果を、以下のとおり、ご報告申し上げます。

	項目	内容
1	被監査対象組織	長野県上田市役所丸子地域自治センター 長野県上田市上丸子 1612 被監査者代表者名：上田市長 母袋 創一 環境管理責任者：丸子地域自治センター長 関 義継
2	監査者	監査チームリーダー：高遠祐一 監査チームメンバー：高橋一郎
3	目的	ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（以下「EMS」という）の維持状況を評価し、ISO14001 の自己適合宣言に相応しいものかどうかを判定する。
4	適用範囲	上田市役所の丸子地域自治センター内における施設のうち、適用範囲としている施設
5	適用規格	JIS Q 14001：2004（ISO 14001：2004）
6	適用文書	上田市環境マネジメントシステムマニュアル 第 19 次版（2008.8.8）
7	実施日程	平成 22 年 2 月 24 日（水）～ 2 月 25 日（木）
8	実施計画	. 監査の実施計画に示すとおり
9	監査結果	監査の結論、監査総括所見、部門別監査所見等に示すとおり
	付記事項	

監査内容に関する確認

依頼者

監査者

上田市長

監査責任者

母袋 創一

高遠 祐一

平成 22 年 3 月 31 日

平成 22 年 3 月 31 日

・監査の結論

監査チームは、丸子地域自治センターが平成21年度より適用している上田市のISO14001に基づく環境マネジメントシステムの第三者監査を実施し、システムの運用が行われていることを確認しました。

今後は、今までの地域自治センターの取り組みの特徴を生かし、更なる活動の工夫をされ、持続可能な社会と未来に誇りうる自然環境共生都市の構築に向けて積極的な活動がされることを期待します。

同時に監査チームは、監査総括所見、部署別の監査所見等について報告し、要改善事項等につきましては今後の適切な是正等を行い、システムの継続的な改善や本来業務課題と整合させた効果的な運用を期待します。

・監査総括所見

1. 前回の第三者監査、内部監査の指摘事項等への対応について

平成20年度の第三者監査では、改善が10項目ありましたが、これらに関しまして、原因の明確化と是正処置(改善状況)が「第三者環境監査シート」に記録されておらず、一部を除いて、改善ができていないことが確認できませんでした。このことは、もし審査機関の審査であれば軽微な不適合と判断されます。また、第三者監査の必要性も疑問となります。

今年度の内部監査(12月実施)では、新たなチェックリストを使用して、運用状況等が確認され、一部の課を除きほぼ良好な判定結果が出されていました。しかし、ややもするとチェック・判定の甘い状況も散見され、監査の有効性の面から今後やや不安があります。

2. 本来業務に結びつけた環境目標、エコオフィスうえだの環境目標の設定について

積極的に本来業務(課題・目標)に結びついた環境目標の設定をされ、活動を展開されている課が多くあったことが確認できました。しかし、その反面、事務分掌にある業務からの環境側面の抽出を踏まえて、有益な環境側面からの環境目標の設定に繋げる余地が有ると考えられます。

環境に有益な活動(行政としての影響力の発揮)をしているかの視点で、全職員が側面抽出に参加し、年度当初に具体性のある環境目標を設定し、有効な手段、担当を明確にした実施計画を策定し、主体的な教育訓練を実施し、パフォーマンスの向上を図っていただきたい。なお、目標は計画された行動ではなく、その成果が評価できる状態等(数値又はパフォーマンス)に重点を置き、明確にされることが必要です。

3. 法令遵守について

概ね良好でした。しかし、一部に不備な面がありました。各部署の推進員は生活環境課や上小地方事務所環境課等の専門員との定期的なコミュニケーションにより、管理すべき法規制等の最新情報を入手する必要があります。

4. その他気付いた点

(1) 丸子地域自治センターとして、他部署の内部監査の水平展開も兼ねた主体的な力量確保のための教育訓練等の計画(外部研修等も含めて)とその実施が必要です。

(2) 地域環境保全の担い手としての環境配慮行動(地域への働きかけ)地域住民向けのコミュニケーション手段(EMSの活動やパフォーマンス報告の作成等)の工夫と活用が必要です。

5. 今回の第三者監査の良かった点と今後のあり方について

(1) 良かった点

自治センター長へのヒヤリングができたこと。

生活環境課長のオブザーバー参加があったこと。

監査や結果の報告時にセンター長はじめ各課長や推進員が参加されたこと。

拡大された真田地域、武石地域の担当の方がオブザーバーとして参加されたこと。

(2)今後のあり方

内部環境監査員(監査員教育により)や住民参加型の監査として丸子地区の環境団体等(消費者団体、地球温暖化防止活動推進員)のオブザーバーとしての参加があってもいいのではないか。

被監査側は事前に監査内容を整理が必要ではないか。

・部門別の監査所見等

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	環境管理責任者(丸子地域自治センター)
被監査者	関 義継センター長
監査日時	2010年2月24日(水) 9:30 ~ 10:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	・前回の第三者監査はなし。 ・内部監査・審査実績なし。(何故かは不明です。統括環境管理責任者からのチェックがあったと理解しますが……)

総括所見	<p>・平成18年3月の合併に伴い、平成21年度に旧丸子町のEMSも自己適合宣言し、今回は上田市役所のISOシステムに統一されて初の第三者監査を受けた。自治センター長は環境管理責任者として、個々の地域特性を活かし、更に環境保全活動を進めていく事、市民をまきこんで、環境に対するアピールをしていきたいなど積極的な環境への取組む姿勢が伺われた。しかし、丸子地域自治センターの環境管理責任者としての主体的なシステムの運用管理への関与については弱い状況を感じましたので、今後は、積極的なEMSの管理を推進され、市民と行政が連携して環境にやさしい住み良い地域づくりを進められる事を期待します。</p>				
1	特筆事項 (優良事項等)				
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比)	向上	維持	低下
		【事実の整理と所見】			
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比)	適切な取組内容	ほぼ適切な取組内容	不適切な内容
		【事実の整理と所見】			
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比)	計画どおり実施	ほぼ計画どおり実施	未実施が多い
		【事実の整理と所見】			
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比)	有効性が高い	ほぼ有効	有効性は低い
		【事実の整理と所見】			

改善提案・意見等

統一された上田市の環境マネジメントシステムを効果的に推進して行くために、環境管理組織における各センター長、各課長、各職場・各職務が役割、責任と権限を確認し、PDCAを回し、成果を上げることが必要です。丸子地域自治センターの環境管理責任者として、今回の第三者監査の結果を踏まえ、EMSの有効活用によりセンター内の環境負荷削減のみならず、各課の本来業務に絡んでの環境目標(環境配慮事業を含む)の設定や進捗評価、必要な是正処置の指示等の更なる積極的な指揮・指導により、丸子地域自治センターとしての環境パフォーマンスの向上を図っていただきたい。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	環境マネジメントシステムを実施するための役割、責任及び権限を確認され、効果的かつ主体的な行動を通じて更なるパフォーマンスの達成がされることを望みます。	4.4.1 資源、役割、責任及び権限
-02	推奨 改善 指摘		
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	地域振興課
被監査者	佐藤課長、芹沢補佐、尾美主査、中村主査(推進委員)
監査日時	2010年2月25日(木) 9:50 ~ 11:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査では、規格の4.3.2「法的及びその他の要求事項」で指摘をしたが、今回改善状況を確認したところ客観的証拠もなく、明確な確認ができなかった。 内部監査は平成21年12月16日に実施され、指摘事項は無かったことを確認した。 (内部監査の有効性にやや問題あり)

総括所見	地域振興課は市民への情報(自治センターだより、わがまち魅力アップ応援事業など)の要です。有益な環境側面として環境の発信、支援をこれからも推進されたい。
1 特筆事項 (優良事項等)	活動に消費者の会が参加していた。
2 職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下 【事実の整理と所見】 インタビューにより、課の目的、目標の進捗状況及び達成度合いを確認したところ課の目的目標及び個人の目標など環境に対する意識が伺えた。
3 環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容 【事実の整理と所見】 4.4.7 緊急事態への準備及び対応について確認したところ、今年度のテストは未実施 前年度のテストは平成20年8月29日に実施されていたが今回は実施可能であるにもかかわらず定期的なテスト結果が確認できない。
4 環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い 【事実の整理と所見】 計画に基づき運用されていた。しかし、ガソリン使用量の目標は無く、結果の評価はできない。
5 環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い 【事実の整理と所見】 ・法的な「ばい煙量等 測定記録」計量証明書や灯油の地下タンク設置許可申請書、届出書等については適切に管理されていた。 ・M7で環境目標は設定されていたが計画は8月下旬であり、策定期間として不適切であります。年初での計画が必要であり、中途での修正があれば改訂で対応することが望ましい。 ・エコオフィスうえだの丸子地域自治センターにおける統括管理部署(温室効果ガス排出量の集計等)であり、センターとしての活動計画、目標の設定、監視測定が必要と考えます。

改善提案・意見等

・前回監査指摘事項の原因やシステム運用上の不十分な状況から、課独自の教育計画(EMS の理解、活動)の実施が必要と考えます。
 ・省エネルギー法の改定がスタートします。センターの省エネルギー目標の設定、監視は強化されると思いますので、管理の仕組みを検討されたい。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	緊急事態対応手順は定期的にレビューする必要がある、実施可能な場合は手順を定期的にテストする事が求められている。テストと訓練の理解をされたい。	4.4.7 緊急事態への準備及び対応
-02	推奨 改善 指摘	センターとしての省エネルギー(CO2削減)目標が設定されておりません。事務局と協議し、目標を設定しての活動・評価が必要と考えます。	4.3.3 目的・目標及び実施計画
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	市民生活課
被監査者	関尾課長(副環境管理責任者)、曲尾係長(推進委員)、千野補佐(推進委員)、宮澤係長
監査日時	2010年2月24日(水) 10:00 ~ 11:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	・前回監査の是正状況 適用すべきその他の要求事項については「平成 20 年度環境管理実施計画書及び監視調書」、「法的要求事項等調査表(丸子解放センター)」を確認したがその他の要求事項については確認できなかった。 ・内部監査では、2 件の指摘と 7 件の指導がされていた。 (内部監査の有効性は確保されていた。)

総括所見	環境マネジメントシステムの規格を十分理解し、ツールとして有効に活用される事を望みます。(本来業務に絡むチャレンジする目標設定、進捗評価できる目標の状況の明確化、確実な活動評価、必要な是正・予防処置等の徹底。)
1 特筆事項 (優良事項等)	
2 職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下 【事実の整理と所見】 ごみの分別や未使用時のトイレ消灯など、職員の環境配慮が伺えた。
3 環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 やや不適切な内容 【事実の整理と所見】 上田市として「自己適合宣言」をされ、丸子地域自治センターとして環境マネジメントシステムを推進していく上でISO担当者の役割はたいへん重要である。ISO事務局(生活環境課)との情報交換を密にし、課を取りまとめ、各課支援することを考慮されたい。
4 環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い 【事実の整理と所見】 計画に基づき運用されていた。しかし、M7の上半期の達成状況は、計画欄の効果を計る指標が明確ではなく、有効な活動がされてきているかの判断に疑問が残る。
5 環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い 【事実の整理と所見】 著しい環境側面について確認したところ「環境影響評価登録表(H21)様式(A4)」に登録され運用されている事を確認した。 本来業務からの目標が設定され、活動が行われていた。

改善提案・意見等

「事務・事業洗い出し調査表」(A1)の作成(H21.8.21)を確認したところ著しい環境側面については確認ができなかったが、環境影響評価登録票では登録されていた。登録までのプロセスを明確になるよう見直し、整合性が確認できるよう改善を要望します。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	管理できる環境側面及び影響を及ぼすことができる環境側面を特定するプロセスが明確になっていない。また、サービスについて考慮されていることが確認できなかった。	4.3.1 環境側面
-02	推奨 改善 指摘	前回の指摘事項である、「適用すべきその他の要求事項」の確認がされているかが不明でした。せつかくの指摘ですので、真の原因追及と適切な対応が必要です。	4.3.2 法的及びその他の要求事項
-03	推奨 改善 指摘	環境目標は進捗管理(上半期等での)で、第三者でも環境面での達成度評価ができる姿(目標値や行動のできれば等)を明確にすることが必要です。	4.3.3 目的、目標及び活動計画
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	健康福祉課
被監査者	下村課長、依田補佐(推進委員)、尾美係長
監査日時	2010年2月24日(水) 11:00 ~ 12:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査で指摘した内容の対処状況については是正が施されている事を確認した。また、平成21年12月17日に行われた内部監査で「指導」となった項目についても是正を確認した。

総括所見		日常の業務と関連した活動が理解され、適切に実施されておりました。
1	特筆事項 (優良事項等)	平成21年度の目的・目標、エコオフィスの取り組みなど平成21年4月1日に課員全員に配付され、コミュニケーションが図られている事は今後の取り組みに対して効果的であります。
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下
		【事実の整理と所見】 所管地域の住民の健康と福祉のための環境に対する取組意識が非常に高いことが伺えた。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容
		【事実の整理と所見】 ふれあいステーションの消防設備点検は、ミヤマにより適切に実施されていました。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い
		【事実の整理と所見】 予防接種における感染性廃棄物の管理について、有資格者が明確にされていた。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い
		【事実の整理と所見】 ・エコオフィスうえだへの取り組み担当者が一覧表(責任者、担当者が作成され、具体的取り組みも明確)にされていた。 ・活動の進捗管理は、係長により月1回行われていた。

改善提案・意見等

本来業務と環境との係わりを認識し、活動が展開されておりました。
 職員へのインタビューでは、分別に対する根本的な目的や設定温度はなぜ決めるのかなど、何れも環境に対する意識のある回答が伺えました。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	エコオフィスうえだの担当者を明確にされ(一覧表)、配布されていた。	4.4.1 資源、役割、責任及び権限
-02	推奨 改善 指摘		
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	産業観光課
被監査者	齋藤課長、内川課長補佐(推進員)、矢島係長、上原係長
監査日時	2010年2月25日(木) 11:15 ~ 12:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	<p>前回監査では、改善について2項目の要望をした。改善1については、是正処置が施され現状の進捗状況も良好である事を確認した。但しグリーン購入推進についての目標設定の考慮をお願いしていたが、課内での周知だけで目標としての設定はされていなかった。改善2については、年間教育計画を確認したが作成されていない。</p> <p>内部監査については、平成21年12月14日に実施され指摘1件、指導2件が指摘され共に是正がされていたが、指摘1件についての原因内容については真の原因とはいいがたくヒューマンエラーになっていた。(内部監査は有効であった。)</p>

総括所見	課員への周知が施され、特に職員へのインタビューを通じて環境に対する配慮意識は非常に高く主体的な行動意識があることを伺えた。産業観光課としてできることをより積極的に行動され、環境施策を進められることを期待します。
1 特筆事項 (優良事項等)	職員へのインタビューでは、伊藤職員へ課の目標、自分の目標、アイドリングストップ、節電、紙の再利用など非常に環境意識が高い事が伺えた。
2 職員の環境 配慮意識	<p>(前年度比) 向上 維持 低下</p> <p>【事実の整理と所見】 上記同様</p>
3 環境活動内容 の適切性	<p>(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容</p> <p>【事実の整理と所見】 ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律については「平成21年法的要求事項等監視及び測定年間兼順守状況確認表」(M8)、「対象建設工事の届出」、「対象建設事業の通知」を確認した。但し上記文書について、いつ、誰が、確認し、承認したのか確認できない。</p>
4 環境活動結果 の妥当性	<p>(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い</p> <p>【事実の整理と所見】 ・管理者研修の内容は課員へ周知され自覚を持っていた。 ・グリーン購入や印刷物の発注はガイドラインを確認し、実施されている。</p>
5 環境活動全般 の有効性	<p>(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い</p> <p>【事実の整理と所見】 課の活動「環境保全事業」で捉える環境目的「地球温暖化防止活動を推進する」からの環境目標として「ISO14001などの事業者～支援する」を確認。効果を計る指標「参加者3回で50社50人」に対して上半期の結果は、2回で90名と有効であったことを確認した。</p>

改善提案・意見等

・管理者は職員に任せて適宜行っているところが散見される。職員の力量確保のために基礎的な素養として何を必要とするかを決め、それぞれの仕事と環境マネジメントシステムの必要事項を対にして教育訓練することが重要です。

・組織の長として自らPDCAを徹底することで、さらなる職場での活動の成果が上がるとともに、行政の市民への啓蒙が進みます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	第三者監査、内部監査で指摘された是正処置について真の原因がとられていなく、有効な是正処置がされてはいない。	4.5.3 要改善事項並びに是正処置及び予防処置
-02	推奨 改善 指摘	本来業務から、環境関連の新しい環境目標が設定されていた。目標は進捗評価できる状態を明確にして欲しい。	4.3.3 目的・目標及び実施計画
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	建設課
被監査者	佐藤課長、小平主査(推進委員)
監査日時	2010年2月24日(水) 13:00 ~ 14:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査の指摘については是正が施されている事を確認した。 12月の内部監査では指摘事項はなかった。

総括所見	良い点として、公用車の車両使用兼燃料消費量削減チェックシートが作成され運用されていた事は、自然の枯渇や CO2 の削減に寄与するものである。是非、課の独自目標に取り入れ運用願いたい。
1 特筆事項 (優良事項等)	
2 職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下
	【事実の整理と所見】 公用車の車両使用兼燃料削減チェックシートの活用がされている。
3 環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容
	【事実の整理と所見】 公共工事に関連する建設リサイクル法及び届出等は適正処理されていることを確認した。
4 環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い
	【事実の整理と所見】 環境保全事業は概ね計画通りに展開されている。
5 環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い
	【事実の整理と所見】 ・「環境保全事業評価シート・各課独自目標評価シート」(M7)による進捗は有効に管理されていることを確認した。しかし、個別の事業ごとの半期評価はされていたが、M7による評価報告は確認できなかった。

改善提案・意見等

- ・活動目標は誰もが進捗評価できるための目標値又はあるべき状態等の設定が必要です。
- ・目的・目標は、紙、ごみ、電気(エコオフィスうえだ)も必要ですが、独自目標として建設課の業務課題の展開から、取り組むべきものも考慮されたい。
- ・活動は年度当初設定が本来の姿であります。年度の早い時期で設定により、EMSは有効に機能されます。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	C02 の削減行動としては、自部所活動の成果指標としての目標値の設定が必要です。検討されたい。 住民参加による道路沿い整備行動についても、成果指標を明確にされたい。	4.3.3 目的・目標及び 実施計画
-02	推奨 改善 指摘	M8で法的要求事項等監視及び測定年間計画が明確にされていた。 しかし、作成日はH21年8月21日であり、年間計画作成の時期としては妥当ではないと考えます。(目標管理制度での課の課題は年初早い時期に設定されているはずです。)	4.3.2 法的及びその他の 要求事項
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	学校給食センター
被監査者	金井所長、逢坂所長補佐
監査日時	2010年2月25日(木) 14:30 ~ 16:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査の実施はない。 内部監査は平成21年12月18日に実施され指摘事項はない事を確認した。 (ただし、指摘や指導が全く無いことは、実施された内部監査の有効性にて問題があります。)

総括所見	学校給食センターは、環境に配慮された自然エネルギー(太陽熱高度利用)を活用したCO2削減を考慮した施設として評価したい。今後、このような地球温暖化防止などの環境配慮を徹底するとともに、地域住民への信頼性の向上を図り、持続的発展が可能な循環型社会の構築に行政として取り組んでいただきたい。
1 特筆事項 (優良事項等)	栄養士による給食指導がセンター内で行われている中で、食の安心・安全紹介が行われていた。
2 職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下 【事実の整理と所見】 ゴミの分別やトイレ未使用時の消灯など環境配慮が伺えた。
3 環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容 【事実の整理と所見】 学校給食センターが関わる法的要求事項についての管理について、以下を確認した。 ・営業外食品供与施設開設報告書 H21.3.6 ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況届出書 H21.6.30 ・特定事業設置確認申請書 H21.3.17 ・騒音規制法に基づく届出、水質汚濁(東信公害研究所)計量証明書 H21.12.28 以上については適切である事を確認しました。
4 環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い 【事実の整理と所見】 計画に基づき運用されていた。しかし、M7にある環境目標は達成目標(あるべき状況)が明確ではなく、進捗評価が困難である。目標の設定に工夫が必要です。
5 環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い 【事実の整理と所見】 インタビューにより、環境保全に関連する内容を確認したところ十分理解され、事業特性を生かした環境目標が設定されており、活動の有効性が十分であることを確認した。

改善提案・意見等

- ・学校給食センターは、自然エネルギーを活用し環境に配慮された最先端の施設である事は確かである。しかし、環境マネジメントシステムを活用しての環境行動のスキルが足りないように思われます。特に施設として重要なISO14001規格でいう4.3.2「法的及びその他の要求事項」、4.5.1「監視及び測定」は大切です。是非ISOをツールとして活用されスキルアップをお願いします。
- ・法規制等についての管理は、地方事務所環境課等とのコミュニケーションを通じて、充実されたい。
- ・食中毒の発生を緊急事態と捉えることも考慮されたい。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	特別管理産業廃棄物管理責任者の資格要件が満たされていない。 早期に外部講習を受講されたい。	4.3.2 法的及びその他の 要求事項
-02	推奨 改善 指摘	学校給食法に基づく特定施設なのか。また、届出の必要性や公害防止に関する条例及び公害防止管理責任者の選任について質問したが回答を得られなかった。	4.3.2
-03	推奨 改善 指摘	緊急事態への準備及び対応について対応手順書の確認をしたが提示がなく確認できなかった。また、緊急事態とし捉える消火訓練の記録(H21.8.18)は確認したが、テストの記録はなかった。	4.4.7 緊急事態への準備 及び対応
-04	推奨 改善 指摘	給食提供業務を通じての環境教育の内容等を更に工夫され、自然環境共生都市の構築に寄与して欲しい。	4.4.6 運用管理
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	学校教育課
被監査者	清水課長、依田課長補佐(推進委員)
監査日時	2010年2月24日(水) 14:00 ~ 15:00
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査の実施はない。また内部監査は平成21年12月17日に実施され指摘項目はなかったことを確認した。

総括所見	学校教育課が中心となり、環境を将来の世代に継承していくため、学校 ISO「環境にやさしい学校づくり」の活用を通じて省エネルギー、ごみの分別、リサイクル、美化活動など環境教育を促進しており、環境方針及び環境基本条例に基づいた「自然環境共生都市」の目標が達成されることを期待します。		
1	特筆事項 (優良事項等)	学校や地域の環境保全活動や環境学習活動など環境に対する取組みについて6学校においてグリーン購入集計のチェックシートを適用するなど積極的に協力され推進されていた。	
2	職員の環境 配慮意識	(前年度比)	向上 維持 低下
		【事実の整理と所見】	ゴミの分別などインタビューにより自覚を持ち、取組まれている事が伺えた。
3	環境活動内容 の適切性	(前年度比)	適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容
		【事実の整理と所見】	目的・目標は環境方針の「エコオフィスの推進」に基づき運用されている事が伺えた。7月に行われたリーダー職員研修資料が職員に回覧され、環境教育の周知がされていた。
4	環境活動結果 の妥当性	(活動内容比)	計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い
		【事実の整理と所見】	計画に基づき運用され、グリーン購入の監視も適切に行われていた。
5	環境活動全般 の有効性	(前年度比)	有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い
		【事実の整理と所見】	学校に対して環境活動への計画的な行動が実施され、活動の有効性があることが伺えた。(燃料電池体験教育等)

改善提案・意見等

・学校における環境教育の推進について、現状では小中学校が対象範囲から除かれているが、関係先(教育事務所等)と連携をとり更なる推進を図りたい。
 ・環境教育推進による積極的な環境活動の展開への工夫や新たな環境目標の設定に対し、前向きな内部コミュニケーションを期待します。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	学校の営繕業務に関する環境配慮に対する提言等を積極的にされ、活動成果としてまとめることを考慮されたい。	4.4.6 運用管理
-02	推奨 改善 指摘	課独自の環境教育や活動目標(行動)検討の内部コミュニケーションを考慮されたい。	4.4.3 内部コミュニケーション
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

様式2:部門監査報告書

被監査部門名	丸子金子図書館
被監査者	坪田館長、竹花次長(推進委員)
監査日時	2010年2月25日(木) 13:10 ~ 14:05
監査員	監査リーダー:高遠 祐一 監査メンバー:高橋 一郎
前回監査・審査等での指摘事項への対処状況	前回監査の実施はなかった。 内部監査は平成21年12月17日に実施され指摘はなかったが、新目標として「環境教育の推進」(M7)で啓発活動を通じて環境保全の理解を深めるという新目標を確認した。

総括所見	積極的に本来業務に結びついた本のリサイクル市開催で本の有効利用を図ったり、移動図書館「あおぞら号」によるCO2削減のための運行計画など環境に対する意識を持った活動が伺えた。より一層のパフォーマンス向上を期待します。
1 特筆事項 (優良事項等)	上記同様
2 職員の環境 配慮意識	(前年度比) 向上 維持 低下
	【事実の整理と所見】 職員への環境配慮について周知がなされ、省資源、3Rの内容が理解されていて、本の有効活用が展開されていた。
3 環境活動内容 の適切性	(前年度比) 適切な取組内容 ほぼ適切な取組内容 不適切な内容
	【事実の整理と所見】 平成20年度環境管理実施計画書及び監視調書作成(H20.8.22)より実績報告がされていることを確認した。 6月の環境月間にあわせて、環境関連の本が展示されていた。
4 環境活動結果 の妥当性	(活動内容比) 計画どおり実施 ほぼ計画どおり実施 未実施が多い
	【事実の整理と所見】 環境教育の推進が目標として掲げられ、計画に基づき運用されていた。
5 環境活動全般 の有効性	(前年度比) 有効性が高い ほぼ有効 有効性は低い
	【事実の整理と所見】 灯油(490ℓ)の保管について確認したところ「少量危険物貯蔵所」届出書の届出(H11.8.11)済みを確認。防火管理者も選任され管理されていた。また、緊急事態対応手順書に基づき資材も準備されていたが、すぐに対応を図れない場所に置かれていることと貯蔵タンク横に燃えるもの(ダンボール)が置かれている事を確認。この2点については改善を図っていただきたい。

改善提案・意見等

・環境教育の一環としての環境月間での環境関連の本や資料として、上田市や企業・大学等の活動報告書を入手したり、長野県環境保全協会から環境関連の啓蒙活動用のパネルを借りて展示する等、よりいっそうの積極的な活動を展開して欲しい。
 ・平成23年度の新しい図書館建設において可能な限りの環境配慮対応を、設計協議の中で、管理者の立場で主体的な提言を希望します。

個別指摘事項等

No	評価	指摘事項	規格要求事項
-01	推奨 改善 指摘	貯蔵タンクについて「消防法」の規定表示であるかの確認と緊急事態や事故に対応ができる状況として、備品の置き場等は改善された。	4.3.2 法的その他の要求事項
-02	推奨 改善 指摘	環境月間にあわせて利用者への環境教育はりっぱであり、今後も積極的な展開を図っていただきたい。	4.4.3 コミュニケーション 4.4.6 運用管理
-03	推奨 改善 指摘		
-04	推奨 改善 指摘		
-05	推奨 改善 指摘		
-06	推奨 改善 指摘		
-07	推奨 改善 指摘		
-08	推奨 改善 指摘		
-09	推奨 改善 指摘		
-10	推奨 改善 指摘		

．感想

オブザーバー 千曲市環境部環境課環境推進係 林 欣克

今年度は、丸子地域自治センターについても、上田市環境マネジメントシステムに完全統合し運用されていました。監査の感想として、従来のシステムから上田市環境マネジメントシステムに移行したことで、環境目的及び目標の設定時期や新たな様式類での目標設定について一部不備が見られましたが、オフィス活動以外にも有益な目標設定があり環境意識の高さがうかがえました。

気になる点としては、実際には環境活動が実施されているのですが、目標達成のためのプログラムにおいて、半期の進行管理報告の時点でどうあるべきかが見えにくく、評価しにくい部分がありました。今後は、半期報告の時点で「あるべき姿」を、その時点での状態や数値で表し環境活動を実施することで、より達成感のある取り組みができると思います。

また、法規制の特定について、新規施設についての特定が不十分なところが見受けられました。環境法令の順守については事務局主導で研修会を開催するなど、理解を深める必要があります。

今後は、真田、武石の地域自治センターについても同様にシステム運用されるようですが、全庁的な効率のよい環境管理を推進するため、早期に実施されるよう期待します。

．監査計画

丸子地域

1日目 2月24日(水) 丸子地域自治センター3階第4会議室			
NO	時間	対象	監査員
午前	10:00~11:00	市民生活課	高遠祐一(市民代表) 高橋一郎(三洋精密株)
	11:00~12:00	健康福祉課	
午後	13:00~14:00	建設課	
	14:00~15:00	丸子学校教育課	

2日目 2月25日(木) 丸子地域自治センター3階第4会議室			
NO	時間	対象	監査員
午前	10:00~11:00	地域振興課	高遠祐一(市民代表) 高橋一郎(三洋精密株)
	11:00~12:00	産業観光課	
午後	13:00~14:00	丸子金子図書館	
	14:30~15:30	丸子学校給食センター	